

【2024年11月8日 カマラ 60周年記念イベント会頭挨拶】

只今ご紹介にあずかりましたメキシコ日本商工会議所の久我です。

皆様、本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

在メキシコ日本国大使館特命全権大使 福嶋 教輝様、日本貿易振興会 JETRO 理事 河田美緒様、大変ご多忙の中ご臨席賜り厚く御礼申し上げます。後程ご紹介させていただきますが、大変光栄なことに日本国経済産業省大臣 武藤 容治様、日本国外務大臣 岩屋 毅様よりもメッセージを頂戴しております。深謝申し上げます。

また本日メキシコ連邦・州政府、経済団体の来賓の方々にもご臨席いただいておりますので、スペイン語にてお礼を申し上げたいと思います。：

-Dr.Juan Ramón de la Fuente Ramírez, Secretario de Relación Exteriores

Señor Secretario, quisiera expresar mi más sincero agradecimiento, por acompañarnos en este evento. Su presencia significa mucho para nosotros y no solo enriquece nuestras actividades, sino también refuerza el vínculo que tenemos. Estoy seguro que lo logremos sin problema con el gran apoyo de la embajada de Japón en México, la embajada de México en Japón y entre otras instituciones relevantes que representa.

- Licenciado Francisco Cervantes Días, Presidente del Consejo Coordinador Empresarial

Mi querido Paco. Gracias por estar con nosotros. Hemos platicado varias veces que podríamos hacer entre dos organizaciones y no tengo menor duda con la firma de hoy, podemos materializar muchas cosas. La verdad, agradezco mucho tu liderazgo.

- Licenciado Sergio Contreras Perez, Presidente Ejecutivo del COMCE (*Consejo Empresarial Mexicano de Comercio Exterior, Inversión y Tecnología*).

Estimado Sergio, gracias por la invitación para celebrar 50 años de COMCE y muchas felicidades su nuevo rol. Entre nosotros ya hemos firmado un convenio, lo cual veo que existe potencial enorme de fortalecer el área de colaboración de aquí en adelante. Seguiremos trabajando.

- Ingeniero Humberto Martínez Cantú, Presidente del consejo nacional INDEX

Ingeniero, gracias por estar con nosotros. Es sumamente importante que ustedes sean de testigos de este evento.

Perdón no puedo mencionar todos nombres, pero a todas y todos quien nos acompañan esta noche, les quiero mandar un cordial bienvenido desde mi corazón. Muchas gracias.

改めまして、メキシコ日本商工会議所（カマラ）が創立 60 周年を迎えました。皆様ご案内の通り、日墨両国の間には 415 年にも及ぶ交流、日墨修好通商条約締結から 136 年となるべくそして長い歴史が存在します。私どもの 60 周年はその中では非常に短い時間に見えてしまいますが、この関係があるからこそ、そして、先人の皆様のご尽力があったからこそ本日このように祝えているのは間違いありません。また、会員企業の皆様は勿論のこと、本イベントへお越しいただいております日墨協会をはじめとする日系人の皆様、在メキシコ日本国大使館、在レオン日本国総領事館、JBIC、JETRO、JICA、リセオ、JNTO 等政府機関関係者の皆様、AMEJ/ASMEJA といったメキシコ・日本を繋いでくれている友人達 amigas/amigos 皆様の日々の活動のお陰であることは間違いありません。この場をお借りしまして、カマラを代表し御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて本日は、カマラの60年の功績・実績を振り返りつつ、「未来志向」これからのことを多く語る内容にしよう企画しました。現在約1500社の日系企業がここメキシコにて活動しています。カマラは60年前は30の会員から始まりましたが今では550社の規模になりました。持続的に規模が大きくなる中で未来に視線を向けた時、我々としての存在意義、すなわち「パーパス」は何なのか？を議論して参りました。先ほどご覧いただきました紹介ビデオの中にメッセージが集約されていまして、2点挙げさせていただきますと、一つ目が「メキシコと日本を繋ぎ架け橋となること」そして二つ目が「絆を深め、知識を共有し共に成長しながら日墨両国の経済・文化交流を促進すること」になります。これを具体的な形にして行く為にはどの様にすれば良いのか？勿論、一緒に取り組む仲間が必要だと考えております。本日「米・西・加・独」の商工会議所のメンバーをお招きしておりまして、後程のパネルで議論していただきます。因みに日本による過去10年間の対メキシコ投資額は累積で210億ドルに上ります。そして、先ほどご紹介した5ヶ国合計のメキシコへの直接投資額のシェアは全体の73%にもなります。メキシコにとって同じ方向性を少しでも見いだせれば、相当なポジティブなインパクトに繋がることは間違いありません。

また、メキシコに日系企業が集積している強みを活かせる領域はないのかという観点でカマラの委員会を立ち上げここ2年以上「クリーンエネルギー、主に水素の活用」を軸に議論して参りました。本日はその内容の共有を兼ねて日本・メキシコ双方の立場からパネルで議論していただきます。そして、アイデアの具現化することを主眼に我々同様に水素関連の委員会を有する有力経済団体CCEとの協業(MoU)の調印を行います。超ご多忙なFrancisco Cervantes会長に態々お越しいただきましたので、後程彼からも日墨協業に関する意義など是非お話を伺いたいと思います。Cervantes会長、どうぞ宜しくお願いします。

当地有力な経済団体とのアライアンスについては、昨年12月にCOMCE(メキシコ国際企業連名)とも協業を行うべくMOUを締結しております。この様に志を同じくする仲間と一緒に取り組むことは今後のカマラの対外・渉外活動の基盤となり、更なるプレゼンス向上に貢献して行くこと確信しております。

本イベントの後半にはマルセロ・エブラル経済大臣ご夫妻にもご臨席いただく予定です。ご到着後、改めて皆様にご紹介させていただくと共に、是非エブラル大臣から今後の日墨経済交流深化のポテンシャルについてお話を伺えればと考えております。

我々はメキシコという国において事業・活動を「させていただいている立場にある」ということを忘れてはなりません。その上で如何に地元コミュニティに貢献し続けることが出来るか、その為には日墨双方何をすべきなのか、私個人的にはカマラが果たすべき役割はまだまだあると考えています。60年の歴史・蓄積がこれからの10年、20年先の未来へ活かされると信じております。スローガンとして掲げております「みんなのカマラ、みんなでカマラ=Camara para todos, Junto trabajaremos」このスピリットを持ちながらこれからも歩んで行くことを願っております。

改めまして本日はお忙しい中お越しいただき、ありがとうございます。お楽しみいただければ幸いです。

最後となりましたが、本日の会を準備いただいた竹原委員長・委員の皆様、ボランティアでサポートいただいている皆様、カマラ事務局の皆様に感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございます。